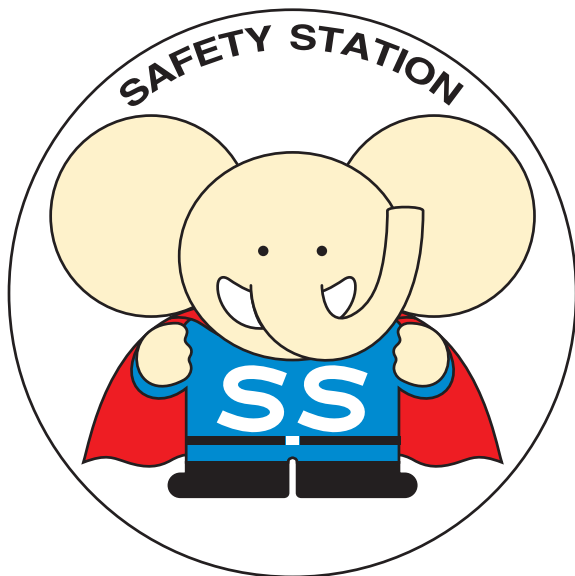


2025年5月発行

2024年度版

コンビニエンスストア セーフティステーション活動 アンケートリポート

アンケート対象期間：2024年1月～12月



エスゾウくん

安全・安心なまちづくりに向けた
セーフティステーション活動の
アンケート結果です

エスゾウくんは
セーフティステーション活動の
イメージキャラクターです



一般社団法人
日本フランチャイズチェーン協会

コンビニエンスストア
セーフティステーション活動推進委員会

～セーフティステーション活動とは～

一般社団法人日本フランチャイズチェーン協会に加盟するコンビニエンスストアは「安全・安心なまちづくりに協力」と「青少年環境の健全化への取組み」を2つの柱とする「セーフティステーション(SS)活動」について自主的に取組んでおり、2005年に全国展開を開始し、加盟店さまのご協力のもと2025年10月で20周年を迎えます。

セーフティステーション活動実施店

地域社会の安全・安心なまちづくりと青少年環境の健全化に努めます

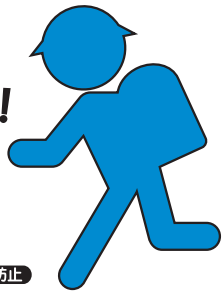


エスゾウくん

こまったときは…
エスゾウくんのお店へ!



防犯・防災 子ども・女性・高齢者保護 20歳未満者飲酒喫煙防止





一般社団法人
日本フランチャイズチェーン協会

後援 / 経済産業省・警察庁・消費者庁・子ども家庭庁・消防庁・国税庁・厚生労働省

このポスターを店頭に貼付して皆さまに活動の実施をお知らせしています。

セーフティステーション（ＳＳ）活動 20 周年
これからもコンビニエンスストアは地域の皆さまと共に歩み続けます

～ご挨拶～ **セーフティステーション（ＳＳ）活動推進委員会**
委員長 服部 岳士



平素より、ＳＳ活動に御理解・御協力を賜りまして誠にありがとうございます。

この活動も加盟店オーナーさま・従業員さまの御尽力と行政機関をはじめとする関係各位の御理解と御協力に支えられ、今では広く認知されるようになりました。助けを求めて店舗に駆け込んで来られた方々の保護や通報、声かけによる特殊詐欺被害の水際での防止や青少年に対する深夜時間帯での帰宅促しなど、この 20 年間でコンビニエンスストアは「便利な店」というだけでなく、もはや地域になくてはならない存在のひとつになったのではないかと考えております。今後もＳＳ活動推進委員会は、加盟店の皆さまの営業活動の一助となるように、また、コンビニエンスストアが地域の皆さまからさらなるご支持をいただけるように「安全・安心なまちづくりに協力」と「青少年環境の健全化への取組み」を柱としたＳＳ活動の推進について尽力をしてみたいです。

～祝 辞～ **警察庁 生活安全局**
生活安全企画課長 阿波 拓洋 様



ＳＳ活動が 20 年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。また、長年にわたるＳＳ活動を通じて、女性や子どもの駆け込み対応、高齢者の保護、特殊詐欺の未然防止などに貢献していただいているとともに、地域安全の要として、重要な役割を担っていただいておりますことに、心から敬意を表します。これもひとえに一般社団法人日本フランチャイズチェーン協会をはじめ、加盟店オーナーさまの多大なる御理解と御協力の賜物と存じます。一方、我が国の犯罪情勢は、刑法犯認知件数が 3 年連続で増加し、特殊詐欺の被害額が過去最多となるなど、厳しい状況にあります。皆さまにおかれましては、引き続き、コンビニサポートポリスなどの名称で推進している取組について御理解いただき、警察との連携強化による地域防犯力向上のための取組への御協力を賜りますようお願い申し上げます。

ＳＳ活動開始の経緯・主な活動	
2003 年 3 月	ＳＳ活動「第 1 次トライアル（期間：3 月～5 月）」を実施（トライアルは第 3 次まで実施） ＊2000 年に警察庁より活動要請を受け、（一社）日本フランチャイズチェーン協会（ＪＦＡ）内に実行委員会を設置。行政機関からも御協力をいただき、活動内容などの協議を行ない第 1 次トライアルとして、神奈川県（川崎市）・佐賀県で試験的にＳＳ活動を実施。
10 月	ＳＳ活動アンケートを開始 ＊ＪＦＡ加盟コンビニエンスストアの店舗を対象に実施。集計結果は「ＳＳ活動レポート」としてまとめ、行政機関などへ報告。
2004 年 7 月	成人向け雑誌の中央 1 ヲ所シール止め実施、および自主ガイドラインを策定 ＊その後、2005 年 10 月に横面 2 ヲ所シール止めに変更し現在に至る。
2005 年 6 月	セーフティステーション・シンボルマーク「エスゾウくん」が誕生 ＊エスゾウくんは大きな耳でまちの声を拾い、大きな身体でお客さまをお受けする気持ちを表している。



ＳＳ活動開始の経緯・主な活動	
2005 年 10 月	<u>各地域にて本格活動を順次開始し、10 月 1 日に全国展開</u> ＊10 月 1 日に活動発足式を東京都にて開催。
2006 年 1 月	<u>店舗でのＳＳ活動の好事例表彰を開始</u> ＊「安全・安心なまちづくりに協力」、「青少年環境の健全化への取組み」などに関して、他店舗の模範となるような取組みを行った店舗を各社より推薦いただき、ＳＳ活動推進委員会において審査のうえ表彰。 ＊2024 年 12 月までに約 8,900 店舗を表彰。
5 月	<u>JFA のホームページ内に『ＳＳ広場』を開設</u> ＊ＳＳ活動の認知向上をはかるために各種活動や好事例の紹介を掲載。
2008 年 3 月	<u>ＳＳ活動通信の配布を開始</u> ＊防犯対策、青少年健全育成、20 歳未満者飲酒・喫煙防止対策など、月ごとにテーマを設定し、全店舗へ情報を発信。
2011 年 11 月	<u>ＳＳ活動意見交換会を初開催</u> ＊行政機関・警察本部と各コンビニエンスストア本部の地区責任者との間で情報交換などを実施するため、コンビニエンスストアと警察本部、自治体との 3 者による意見交換会を宮崎県にて開催。 ＊その後、2024 年度時点で、29 道県にて計 31 回開催。
2013 年 5 月	<u>酒類・たばこ 20 歳未満者販売防止に関する講習会を初開催</u> ＊20 歳未満者への酒類・たばこ販売防止の強化をはかるため、加盟店さまおよび本部社員向けに財務局や警察本部などのご担当者さまから酒類・たばこ販売防止に関連する講義を行っていただく講習会を宮城県にて開催。 ＊その後、2024 年度時点で、9 都府県にて計 12 回開催。
2015 年 10 月	<u>ＳＳ活動報告会 10 周年記念大会を開催</u> ＊ＳＳ活動が 10 周年を迎えるにあたり、関係機関の皆さまへの活動状況の報告と、加盟店さまへの更なる啓発をはかるために東京都にて開催。ＳＳ活動を 10 年間推進してきたことに対して警察庁から感謝状が贈られた。
2016 年 11 月	<u>認知症サポーター養成講座を初開催</u> ＊高齢者支援の取組み強化として、地域包括支援センター等と連携し、コンビニエンスストア業務の実態に則した講座内容に変更し、加盟店さま向けに愛知県名古屋市にて開催。 ＊その後、2024 年度時点で、5 地域にて計 9 回開催。
2017 年 9 月	<u>ＳＳ活動最優秀店舗の表彰を開始</u> ＊年 2 回、「ＳＳ活動好事例表彰店舗」のうち、各社のＳＳ活動推進委員から推薦された店舗についてＳＳ広場で投票を実施し、最も投票数の多かったＳＳ活動好事例表彰店舗を「最優秀店舗」として表彰。 ＊2024 年より最優秀店舗を除く推薦店舗の中から、「委員会特別賞」をＳＳ活動推進委員会において選定し表彰。
2018 年 6 月	<u>コンビニサポートポリス制度が始動</u> ＊ＳＳ活動アンケートの結果から、「制服警察官の定期的な立ち寄り」を強く望む加盟店さまの声を踏まえ、警察に対して店舗巡回強化を継続して要請。その結果、島根県松江警察署においてコンビニエンスストアにおける強盗や万引き防止、特殊詐欺被害の未然防止など、地域安全対策の強化を目的として管内全ての店舗に担当の警察官を任命し、昼夜を問わず、店舗への定期巡回と防犯指導を行う「コンビニサポートポリス」を開始。発足地域が順次拡大。
2024 年 9 月	<u>コンビニサポートポリス制度の発足地域が拡大</u> ＊警察に対して店舗巡回強化の要請を継続した結果、警察庁から各都道府県警察本部に対し「コンビニエンスストアとの連携強化による地域防犯力向上のための取組みの推進（サポートポリス制度の推進、ＳＳ活動の支援）」に関する通達が発出され、発足地域が更に拡大。

【アンケート概要】

一般社団法人日本フランチャイズチェーン協会（以下、J F Aと表記）に加盟するコンビニエンスストアでは「安全・安心なまちづくりに協力」と「青少年環境の健全化への取組み」を2つの柱とする「セーフティステーション活動」（以下、S S活動と表記）について自主的に取り組んでいます。S S活動の更なる定着・深耕をはかるため、全国の加盟店（オーナーさま・店長さま）に実施したアンケート調査の結果をご報告いたします。

1. 活動参加企業：コンビニエンスストア本部（五十音順）

- | | |
|-------------------|-------------------------|
| ①(株)セイコーマート | ⑤ミニストップ(株) |
| ②(株)セブン-イレブン・ジャパン | ⑥山崎製パン(株)デイリーヤマザキ事業統括本部 |
| ③(株)ファミリーマート | ⑦(株)ローソン |
| ④(株)ポプラ | |

※各企業の都道府県別店舗数およびブランドチェーン名は巻末に記載しています。

2. 回答店舗数：56,709 店（アンケート配付：56,861 店 回答率：99.7%）

3. アンケート対象期間：2024 年 1 月 1 日～同年 12 月 31 日

※アンケートの実施期間は 2025 年 1 月～2 月

4. アンケート結果報告の内容（質問内容）

【安全・安心なまちづくりに協力】

- (1) 防犯に関する訓練や講習会・会合などへの参加状況と内容
- (2) 制服警察官による店舗立ち寄りに対する加盟店の受け止め方
- (3) 担当警察官の認知状況と指導内容などについて期待すること
- (4) 警察への通報状況と内容
- (5) 女性・子どもの駆け込み対応と高齢者保護の状況
- (6) 特殊詐欺未然防止対応の状況と警察による巡回指導の状況

【青少年環境の健全化への取組み】

- (1) 青少年健全育成条例の理解状況
- (2) 青少年に対する帰宅促しとトラブル発生状況
- (3) 酒類・たばこ販売時の年齢確認実施におけるトラブル発生状況

【地域との交流】

- (1) 地域との交流を深めるために実施している活動や協力など

セーフティステーション活動 「加盟店オーナー・店長さん向けアンケート」

※アンケート対象期間は、
24年1月1日～12月31日です。
この1年間での出来事をお答えください。

記入方法

1. 記入は必ずHBの黒鉛筆またはシャープペンシルで
○内を正確に塗りつぶしてください。
2. 訂正する場合は、消しゴムできれいに消してください。

1. 店番を右に寄せて記入してマークを入れてください

店番(1桁からご記入ください)					
6桁	5桁	4桁	3桁	2桁	1桁
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○

<記入・マーク例>

記入例

良い例 ●

悪い例 √ ○ ⊖

例: 17 の場合

店番(1桁からご記入ください)					
6桁	5桁	4桁	3桁	2桁	1桁
0	0	0	0	1	7
●	●	●	●	●	●
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○

2. 店名を記入してください

店名

3. 店舗の電話番号を市外局番から記入してください

電話番号(※携帯電話は不可です)

JFAではSS活動に関する好事例について会長名で表彰する制度を実施しております。好事例があった際には経営指導員などにお伝えください。好事例や表彰店舗はホームページをご覧ください。
【JFAホームページ(SS広場)】<https://ss.jfa-fc.or.jp/>



1. 安全・安心なまちづくりに協力

(1) 防犯に関する訓練や講習会・会合などに参加したことはありますか？	
☐ はい	☐ 参加する機会がなかった
(2) (1) で「はい」と回答した場合、どのような訓練や講習会・会合の内容でしたか？【複数回答可】	
☐ 強盗模擬訓練	☐ 防犯会議や定期総会など
☐ 酒類・たばこ販売時の年齢確認訓練・講習	☐ 女性の駆け込み対応訓練・講習
☐ 高齢者の保護対応訓練・講習	☐ 窃盗(万引き)防止の訓練・講習
(※) 特殊詐欺・・・振り込み詐欺や架空請求詐欺などの総称	
☐ 特殊詐欺(※)の未然防止訓練	☐ 子どもの駆け込み対応訓練・講習
☐ その他	
(3) 制服警察官が、買物などで店舗に立ち寄ることについて、どのように思いますか？	
☐ 安心感があり定期的に立ち寄って欲しい	☐ 安心感はあるが立ち寄ったことがない
☐ 制服姿に違和感はあるが立ち寄って欲しい	☐ その他
(4) 店舗の担当警察官として定期的に訪問してくれる警察官がいますか？	
☐ はい	☐ いいえ
☐ 担当警察官はいないが定期訪問してくれている	
(5) (4) で「ア、イ」と回答した場合、訪問頻度はどれくらいですか？	
☐ ほぼ毎日	☐ 週に2回くらい
☐ 週に1回くらい	☐ 隔週に1回くらい
☐ 月に1回くらい	☐ 2ヶ月に1回以下
(6) 担当警察官からはどんな防犯指導などを受けたいですか？(※) 現在、担当警察官がいない場合でもお答えください【複数回答可】	
☐ 地域犯罪情報の共有	☐ 強盗対策
☐ 窃盗(万引き)対策	☐ クレーム客の対策
☐ たむろ対策	☐ 放置車両・自転車対策
☐ 20歳未満者への酒類・たばこ販売防止対策	☐ 特殊詐欺未然防止対策
☐ 女性の駆け込み対応策	☐ 子どもの駆け込み対応策
☐ 高齢者の保護対応策	☐ その他
(7) 警察に通報したことがありますか？	
☐ はい	☐ いいえ
☐ 通報する機会がなかった	
(8) (7) で「はい」と回答した場合、その内容は何ですか？【複数回答可】	
☐ 接客上のトラブル	☐ 酒類・たばこ販売時などの年齢確認によるトラブル
☐ 窃盗(万引き)	☐ 青少年のたむろ
☐ 放置車両	☐ 放置自転車
☐ 恐喝・凶縁	☐ 女性の駆け込み
☐ 子どもの駆け込み(児童虐待含む)	☐ 高齢者の保護
☐ 事故	☐ 強盗
☐ 人身に対する暴行	☐ レジやカウンターなどの器物損壊
☐ 暴走族	☐ 偽札など店舗を狙った詐欺事件
☐ その他	
(9) 女性・子ども(中学生ぐらいまで)の駆け込みに対応したことや高齢者を保護したことがありますか？ また、「はい」と回答した場合、対応回数は何回ですか？	
女性の駆け込み対応	☐ はい ☐ いいえ
対応回数	☐ 1回 ☐ 2回 ☐ 3回 ☐ 4回 ☐ 5回以上
子ども(中学生ぐらいまで)の駆け込み対応	☐ はい ☐ いいえ
対応回数	☐ 1回 ☐ 2回 ☐ 3回 ☐ 4回 ☐ 5回以上
高齢者の保護	☐ はい ☐ いいえ
対応回数	☐ 1回 ☐ 2回 ☐ 3回 ☐ 4回 ☐ 5回以上
(10) (9) で「はい」と回答した場合、最も多く対応した時間帯は何時頃ですか？	
女性の駆け込み対応	☐ 6時～11時台 ☐ 12時～17時台 ☐ 18時～22時台 ☐ 23時～5時台
子ども(中学生ぐらいまで)の駆け込み対応	☐ 6時～11時台 ☐ 12時～17時台 ☐ 18時～22時台 ☐ 23時～5時台
高齢者の保護	☐ 6時～11時台 ☐ 12時～17時台 ☐ 18時～22時台 ☐ 23時～5時台
(11) (9) で「はい」と回答した場合、駆け込み、保護の理由は何ですか？【複数回答可】	
女性の駆け込み対応	☐ ストーカー(つきまとい)
☐ 知らない人から声をかけられた	☐ 痴漢
☐ 暴力(DV含む)	☐ 急病・ケガ
☐ 事故	☐ その他
子ども(中学生ぐらいまで)の駆け込み対応	☐ 道に迷った
☐ 家族や友達とはぐれた	☐ 知らない人から声をかけられた
☐ 痴漢(いたづら)	☐ 急病・ケガ
☐ 家出	☐ その他
高齢者の保護	☐ 徘徊
☐ 徘徊以外の認知症が疑われる行動	☐ 急病・ケガ
☐ 事故	☐ 暴力(家庭内暴力含む)
☐ 道に迷った	☐ 家族や知人とはぐれた
☐ その他	

(12) (9) で「はい」と回答した場合、駆け込んで来た女性・子ども、保護した高齢者への対応を教えてください【複数回答可】				
女性の駆け込み対応	☐ 110番通報	☐ 119番通報		
	☐ 家族・知人などに連絡	☐ 売場・バックルームで保護	☐ 自宅まで送った	☐ その他
子ども(中学生ぐらいまで)の駆け込み対応	☐ 110番通報	☐ 119番通報	☐ 児童相談所などの施設に連絡	
	☐ 家族・知人などに連絡	☐ 売場・バックルームで保護	☐ 自宅まで送った	☐ その他
高齢者の保護	☐ 110番通報	☐ 119番通報	☐ 地域包括支援センターなどに連絡	
	☐ 家族・知人などに連絡	☐ 売場・バックルームで保護	☐ 自宅まで送った	☐ その他
(13) 振り込み詐欺などの特殊詐欺を未然に防止したことがありますか？(電子マネー【プリペイドカードなど】・ATM・出し子の通報など) また「はい」と回答した場合、防止した回数、対応に要した時間/回はどれくらいですか？				
特殊詐欺防止	☐ はい	☐ いいえ	☐ 機会がなかった	
防止回数	☐ 1回	☐ 2回	☐ 3回	☐ 4回
	☐ 5回以上			
要した時間/回	☐ 30分未満	☐ 30分～1時間未満	☐ 1時間～1時間半未満	☐ 1時間半以上
(14) (13) で「はい」と回答した場合、なぜ被害を防止することができたのですか？【複数回答可】				
☐ 高額な電子マネー(プリペイドカードなど)の購入を不審に感じた				
☐ 「高額・端末・プリペイドカード」のフレーズ(※)に該当した				
☐ 「現金を宅配便などで送りたい」旨を言われた				
☐ 高額なインターネット決済を不審に感じた				
☐ その他				
(※)フレーズ：SS活動通信などで注意喚起していた項目(キーワード)				
(15) (13) で「はい」と回答した場合、警察へ通報しましたか？				
☐ はい				
☐ いいえ				
(16) (13) で「いいえ」と回答した場合、その理由は何ですか？【複数回答可】				
☐ 詐欺の確認がなかった				
☐ 声かけに躊躇した(怖かった)				
☐ レジが混雑していた				
☐ お客さまが説得に応じなかった				
☐ 店舗責任者が不在だった				
☐ マニュアルがなかった				
☐ 声かけの仕方が分からなかった				
☐ その他				
(17) 特殊詐欺を防止しようとお客さまに声をかけた際、トラブルになったことはありましたか？				
☐ はい				
☐ いいえ				
(18) (17) で「はい」と回答した場合、トラブルの内容は何ですか？【複数回答可】				
☐ 説得に応じず文句を言う				
☐ 大声で怒鳴られた				
☐ 器物損壊				
☐ 人身に対する暴行				
☐ その他				
(19) 振り込み詐欺などの特殊詐欺被害防止について警察から巡回指導などを受けたことがありますか？				
☐ はい				
☐ いいえ				
(20) (19) で「はい」と回答した場合、指導の内容は何ですか？【複数回答可】				
☐ お客さま向け声かけシートの活用				
☐ プリペイドカード購入者用封筒の活用				
☐ 従業員向け防止マニュアルの活用				
☐ ポスター・ステッカーなどの掲示				
☐ 防止時の全件通報				
☐ 防止事例の共有				
☐ 啓発用動画参照				
☐ その他				
(21) 店舗で特殊詐欺を未然防止するために何か取組みを行なっていますか？【複数回答可】				
☐ 高額な電子マネー(プリペイドカードなど)の購入時には声をかけている				
☐ 電話をしながらのATM利用時には声をかけている				
☐ SS活動通信を活用している				
☐ 警察などから提供された声かけシートなどを活用している				
☐ 日頃から従業員に注意喚起している				
☐ その他の取組みをしている				
☐ 特に取組みをしていない				

2. 青少年環境の健全化への取組み

(22) 各自治体で制定されている青少年健全育成条例などの内容を理解していますか？				
☐ はい				
☐ いいえ				
(23) 青少年健全育成条例などの有無にかかわらず、深夜時間帯は青少年に対して帰宅を促していますか？				
☐ はい				
☐ いいえ				
☐ 実施する機会がなかった				
(24) (23) で「はい」と回答した場合、トラブルになったことはありましたか？				
また、「はい」と回答した場合、トラブル発生回数は概ね何回ですか？				
トラブルになったことがある	☐ はい	☐ いいえ	発生回数	☐ 1回
				☐ 2回
				☐ 3回
				☐ 4回
				☐ 5回以上
(25) (24) で「はい」と回答した場合、お客さまはどのような態度を取りましたか？【複数回答可】				
☐ 素直に応じず文句を言う				
☐ 故意に大きな声で恫喝をする				
☐ 人身に対する暴行				
☐ レジやカウンターなどの器物損壊				
☐ 店頭や駐車場を汚したままで帰宅				
☐ その他				
(26) 酒類・たばこを販売する際に身分証明書の提示やタッチパネル押下の協力を求めてトラブルになったことはありましたか？				
また、「はい」と回答した場合、トラブル発生回数は概ね何回ですか？				
☐ はい	☐ いいえ	発生回数	☐ 5回以下	☐ 6回～10回
			☐ 11回～30回	☐ 31回～50回
			☐ 51回以上	
(27) (26) で「はい」と回答した場合、トラブルになったお客さまの年齢は何歳くらいですか？【複数回答可】				
☐ 20歳未満				
☐ 20～30歳				
☐ 31～49歳				
☐ 50～69歳				
☐ 70歳以上				
(28) (26) で「はい」と回答した場合、お客さまはどのような態度を取りましたか？【複数回答可】				
☐ 素直に応じず文句を言う				
☐ 故意に大きな声で恫喝をする				
☐ 人身に対する暴行				
☐ レジやカウンターなどの器物損壊				
☐ その他				
(29) 酒類・たばこを販売する際の年齢確認に関して要望はありますか？【複数回答可】				
☐ 現行の法制度(販売者の年齢確認義務)の周知活動				
☐ 購入者が身分証明書を提示するなどの条例の制度化				
☐ 店舗責任者向けの講習会など				
☐ 学校・PTAなどで健康被害・飲酒・喫煙防止教育を徹底させる				
☐ 身分証明書を「写真付きの身分証明書」に統一させる				

3. 地域との交流

(30) 地域との交流を深めるため、どのような活動・協力をしていますか？【複数回答可】				
☐ 認知症サポーター				
☐ 地域包括支援センターとの協力				
☐ 子ども会・敬老会などに参加				
☐ 地域の見守りネットワークに参加				
☐ PTA活動に参加				
☐ 児童登下校時の見守り活動				
☐ 体験学習の実施				
☐ 清掃活動				
☐ 防犯(防災)活動				
☐ フードドライブ(食品寄贈)など				
☐ 交通指導員				
☐ 補導員				
☐ 町内会活動などに参加				
☐ 商店街・商店会活動などに参加				
☐ 地域の催事などに寄付				
☐ その他				

ご協力ありがとうございました

【総 括】

私たちコンビニエンスストアは、日頃の営業活動の中で目配り・気配りを常に行うことで少しでも地域社会の安全・安心に貢献したいと考えております。これからも「まちの安全・安心の拠点」としてお客さまをはじめ、地域社会や行政機関などとの連携を強化してSS活動の深耕をはかってまいります。

【安全・安心なまちづくりに協力】

① 防犯に関する訓練や講習会・会合などへの参加状況と内容

近年減少傾向にあった防犯訓練や講習会に参加した店舗は10,540店（18.7%⇒構成比を記載、以下注釈がない場合は同様、前回差+0.6%）で2年連続増加しました。

JFAでは合同防犯訓練を推進しており、強盗模擬訓練に加えて特殊詐欺未然防止策の強化に取り組みました。

② 制服警察官による店舗立ち寄りに対する加盟店の受け止め方

制服警察官が買物などで店舗に立ち寄ることについて「安心感があり定期的に立ち寄ってほしい」など55,115店（98.1%）から肯定的な意見があり、制服警察官の店舗への立ち寄りを積極的に望む声が多い結果となりました。

③ 担当警察官の認知状況と指導内容などについて期待すること

「店舗に担当警察官がいる」との回答が11,982店（21.4%）、また「担当警察官ではないが定期訪問がある」との回答が11,415店（20.4%）からありました。警察官の訪問頻度は「週に1回」以上が全体の43.6%を占めています。警察官に期待する指導は「地域犯罪情報の共有」が23,404店（43.8%）、「窃盗（万引き）対策」が20,352店（38.1%）、「クレーム客の対策」が14,565店（27.3%）など、店舗にとって身近な事案への対策について、指導を期待する声が多くなっています。

④ 警察への通報状況と内容

「通報した」と回答した店舗が34,709店（72.6%※）で、通報した内容は多いものから「窃盗（万引き）」（54.4%）、「接客上のトラブル」（30.5%）、「放置車両」（24.5%）などとなっています。※「通報する機会がなかった」を除いて算出

⑤ 女性・子どもの駆け込み対応と高齢者保護の状況

女性の駆け込みは4,076店で延べ5,497回以上対応しました。時間帯別では23時～5時台で1,891店（48.6%）と深夜時間帯が約半数を占めました。

子どもの駆け込みは2,750店で延べ3,877回以上対応しました。時間帯別では12時～22時台で延べ2,095店（80.6%）と下校および帰宅後の時間帯が8割を占めました。

高齢者の保護は10,204店で延べ18,456回以上対応しました。時間帯別では12時～17時台で4,000店（43.2%）が対応しました。

⑥ 特殊詐欺未然防止対応の状況と警察による巡回指導の状況

17,109店（30.9%、前回差▲1.6%）で35,595回以上（前回差+6,731回以上）「特殊詐欺を未然に防いだ」と回答がありました。防止できた理由は「高額な電子マネーの購入を不審に感じた」として声をかけたものが最も多く15,180店でした。また、「警察から巡回指導などを受けた」との回答が35,627店（67.0%、前回差▲4.6%）あり、店舗では警察から提供された声かけシートや、プリペイドカード購入者用封筒などを活用し、特殊詐欺の未然防止に努めています。

【青少年環境の健全化への取組み】

① 青少年健全育成条例の理解状況

各自治体で制定されている青少年健全育成条例などを理解していると答えた店舗は36,185店(64.6%)でした。

② 青少年に対する帰宅促しとトラブル発生状況

深夜時間帯で青少年のたむろなどを発見した際に、帰宅促しを実施している店舗は20,636店(75.3%※)ありました。その内、声かけに応じずトラブルになった店舗は2,418店(12.0%)ありました。※「実施する機会がなかった」を除いて算出

③ 酒類・たばこ販売時の年齢確認実施におけるトラブル発生状況

身分証明書の提示やタッチパネル押下の協力を求めた際に購入者の理解が得られず延べ11,329店(21.7%)でトラブルが発生し、中には従業員への暴行や器物損壊に発展するケースもありました。

【地域との交流】

① 地域との交流を深めるために実施している活動や協力など

延べ42,699店が「地域との交流を深めるために活動や協力をしている」と回答しました。その中で「地域の催事などに寄付」が7,769店と最も多く、次いで「清掃活動」が5,774店、「体験学習の実施」が5,393店となりました。

【店舗より寄せられた主な意見】

- ① 刑法犯認知件数の増加など、昨今の犯罪情勢に鑑み、担当警察官制度の導入など、地元警察官と今まで以上に顔の見える関係性の構築を望む声が多くなっております。まちの要所にあるコンビニエンスストアの安全・安心な営業が地域社会の安全・安心にも繋がることを願っております。
- ② 酒類・たばこ販売時の年齢確認において、店舗やチェーン本部では購入者に身分証明書を提示していただけるように工夫しておりますが、購入者の理解が得られずに20歳未満の方だけでなく、20歳以上の方とトラブルになっているケース(20歳未満40.1%、20歳以上59.9%)もあります。現行の法制度(販売者にのみ年齢確認義務を負わせる)では限界があり、購入者が身分証明書などを提示しなければ購入できないよう、国および自治体として制度化していただきたいとの声が多く寄せられております。
- ③ 青少年の深夜時間帯での居座り行為や20歳未満者の飲酒・喫煙などを発見した際には店舗でも注意喚起を行いますが、トラブルになり110番通報した際には速やかなご臨場を望む声が多くなっており、あわせて強盗対策や特殊詐欺被害防止に向けた防犯訓練の実施を希望する声も高まっております。

安全・安心なまちづくりに協力

(1) 防犯に関する訓練や講習会・会合などへの参加状況と内容

① 防犯に関する訓練や講習会・会合などに参加した店舗 【n=56,457 店】

項 目	参加した	参加する機会がなかった	※アンケート結果は回答の正確性を高めるため、設問毎に有効回答（無回答を除く）を求めてn数（母数）を算出しています。（以下同様）
店 舗 数	10,540 店	45,917 店	
構 成 比 (100%)	18.7 %	81.3 %	

② 訓練や講習会・会合などの内容

【複数回答：割合はnに占める各回答の割合 n=10,457 店】

項 目	強盗模擬訓練	防犯カラーボールの投てき訓練	酒類・たばこ販売時の年齢確認訓練・講習	防犯会議や定期総会など	特殊詐欺の未然防止訓練
店 舗 数	4,569 店	3,332 店	2,846 店	2,803 店	2,397 店
割 合	43.7 %	31.9 %	27.2 %	26.8 %	22.9 %

項 目	窃盗（万引き）防止の訓練・講習	高齢者の保護対応訓練・講習	子どもの駆け込み対応訓練・講習	女性の駆け込み対応訓練・講習	その他
店 舗 数	709 店	616 店	410 店	263 店	463 店
割 合	6.8 %	5.9 %	3.9 %	2.5 %	4.4 %

(2) 制服警察官による店舗立ち寄りに対する加盟店の受け止め方

① 制服警察官が買物などで店舗に立ち寄ることについての感想 【n=56,161 店】

項 目	安心感があり定期的に立ち寄って欲しい	安心感はあるが立ち寄ったことがない	制服姿に違和感はあるが立ち寄って欲しい	その他
店 舗 数	47,209 店	5,483 店	2,423 店	1,046 店
構 成 比 (100%)	84.1 %	9.8 %	4.3 %	1.8 %

(3) 担当警察官の認知状況と指導内容などについて期待すること

① 店舗の担当警察官として定期訪問してくれる警察官の有無【n=56,029 店】

項 目	担当警察官が いる	担当警察官が いない	担当警察官は いないが 定期訪問がある
店 舗 数	11,982 店	32,632 店	11,415 店
構 成 比 (1 0 0 %)	21.4 %	58.2 %	20.4 %

② 警察官の訪問頻度【n=22,764 店】

項 目	ほぼ毎日	週に2回 くらい	週に1回 くらい	隔週に1回 くらい	月に1回 くらい	2ヶ月に 1回以下
店 舗 数	2,453 店	3,160 店	4,311 店	3,818 店	5,838 店	3,184 店
構 成 比 (1 0 0 %)	10.8 %	13.9 %	18.9 %	16.8 %	25.6 %	14.0 %

③ 警察官に希望する指導内容

【複数回答：割合はnに占める各回答の割合 n=53,396 店】

項 目	地域犯罪 情報の共有	窃盗 (万引き) 対策	クレーム客 の対策	特殊詐欺 未然防止 対策	強盗対策	20歳未満者 への酒類・ たばこ販売 防止対策
店 舗 数	23,404 店	20,352 店	14,565 店	13,192 店	12,097 店	11,356 店
割 合	43.8 %	38.1 %	27.3 %	24.7 %	22.7 %	21.3 %

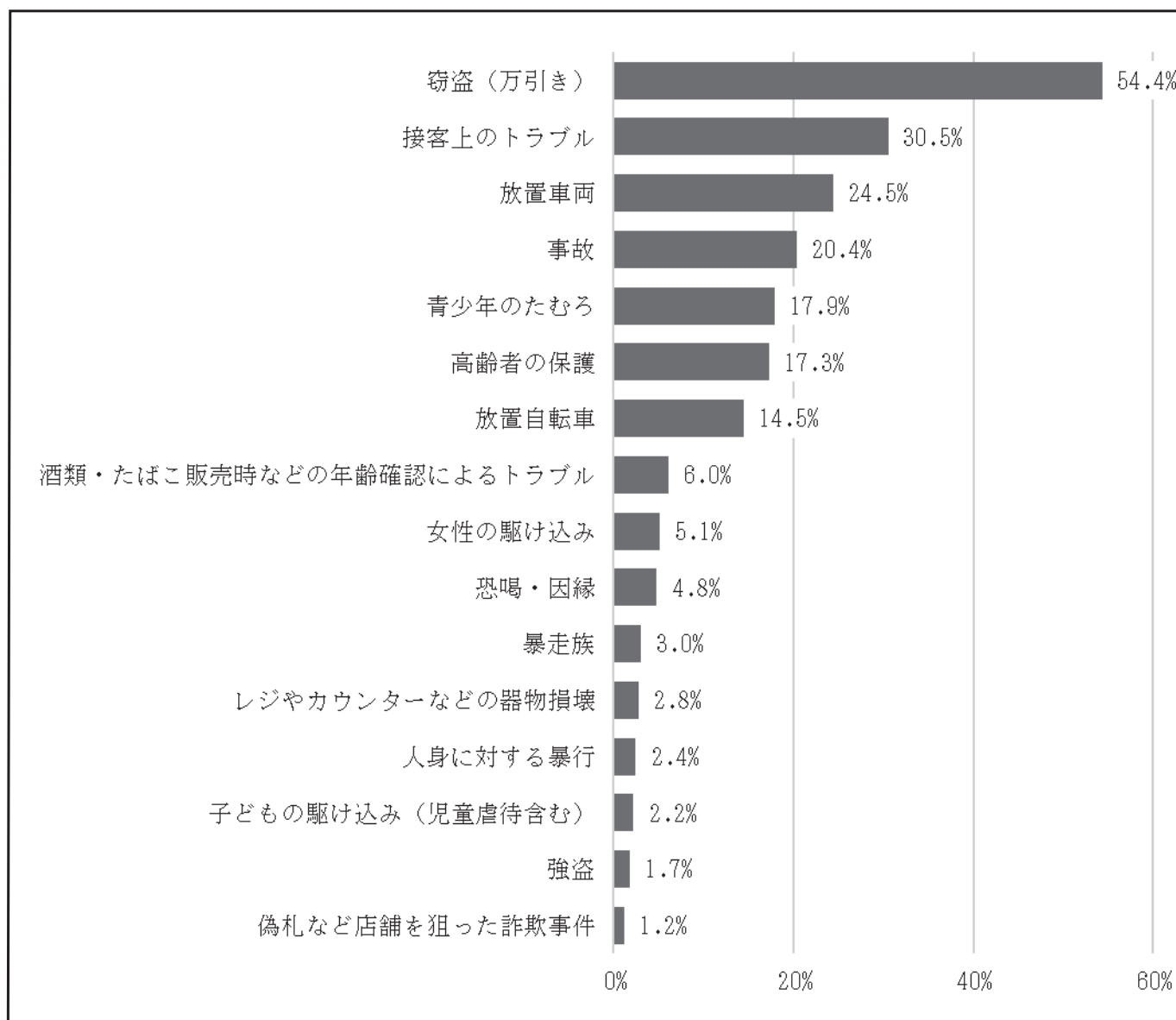
項 目	放置車両・ 自転車対策	たむろ対策	高齢者の 保護対策	子どもの 駆け込み 対策	女性の 駆け込み 対策	その他
店 舗 数	11,327 店	10,165 店	4,290 店	2,274 店	2,086 店	1,998 店
割 合	21.2 %	19.0 %	8.0 %	4.3 %	3.9 %	3.7 %

(4) 警察への通報状況と内容

① 警察への通報の状況【n=55,848 店】

項 目	通報した	通報しなかった	通報する機会が なかった
店 舗	34,709 店	13,073 店	8,066 店
構 成 比 (100%)	62.2 %	23.4 %	14.4 %

② 通報した内容 【複数回答：n=34,593 店】



(5) 女性・子どもの駆け込み対応と高齢者保護の状況

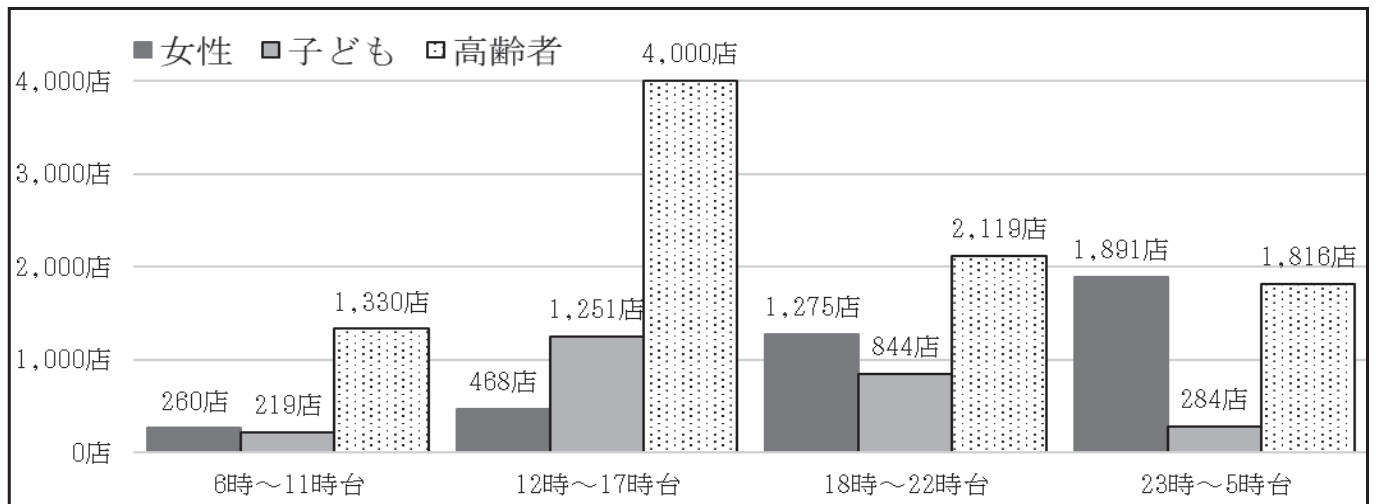
① 駆け込み対応・保護の状況【複数回答：割合はnに占める各回答の割合

女性 n=52,980 店 子ども n=52,372 店 高齢者 n=53,513 店】

項 目	駆け込み・保護を行った店舗	回 数	駆け込み・保護を行った店舗の割合
女 性 の 駆 け 込 み	4,076 店	5,497 回以上	7.7 %
子 ども の 駆 け 込 み	2,750 店	3,877 回以上	5.3 %
高 齢 者 の 保 護	10,204 店	18,456 回以上	19.1 %

② 駆け込み対応・保護を行った時間帯

【女性 n=3,894 店 子ども n=2,598 店 高齢者 n=9,265 店】



③ 女性の駆け込み理由【複数回答：割合はnに占める各回答の割合 n=4,000 店】

項 目	ストーカー (つきまとい)	知らない人から声をかけられた	暴力 (DV 含む)	急病・ケガ	痴 漢	事 故	その他
店 舗 数	1,840 店	986 店	754 店	368 店	269 店	157 店	517 店
割 合	46.0 %	24.7 %	18.9 %	9.2 %	6.7 %	3.9 %	12.9 %

④ 駆け込んできた女性への対応

【複数回答：割合はnに占める各回答の割合 n=3,920 店】

項 目	110 番通報	売場・バックルームで保護	家族・知人などに連絡	119 番通報	自宅まで送った	その他
店 舗 数	2,767 店	1,487 店	372 店	191 店	165 店	158 店
割 合	70.6 %	37.9 %	9.5 %	4.9 %	4.2 %	4.0 %

⑤ 子どもの駆け込み理由【複数回答：割合はnに占める各回答の割合 n=2,698 店】

項 目	道に迷った	家族や友達とはぐれた	知らない人から声をかけられた	家 出	急病・ケガ
店 舗 数	723 店	573 店	483 店	381 店	261 店
割 合	26.8 %	21.2 %	17.9 %	14.1 %	9.7 %

項 目	暴 力 (家庭内暴力含む)	痴 漢 (いたづら)	事 故	その他
店 舗 数	146 店	68 店	56 店	497 店
割 合	5.4 %	2.5 %	2.1 %	18.4 %

⑥ 駆け込んできた子どもへの対応

【複数回答：割合はnに占める各回答の割合 n=2,623 店】

項 目	110 番通報	売場・バックルームで保護	家族・知人などに連絡	自宅まで送った	児童相談所などに連絡	119 番通報	その他
店 舗 数	1,479 店	747 店	721 店	236 店	66 店	46 店	187 店
割 合	56.4 %	28.5 %	27.5 %	9.0 %	2.5 %	1.8 %	7.1 %

⑦ 高齢者保護の理由【複数回答：割合はnに占める各回答の割合 n=10,106 店】

項 目	徘徊	徘徊以外の認知症が疑われる行動	急病・ケガ	道に迷った
店 舗 数	4,629 店	4,147 店	2,429 店	2,044 店
割 合	45.8 %	41.0 %	24.0 %	20.2 %

項 目	事 故	家族や知人とはぐれた	暴 力 (家庭内暴力含む)	その他
店 舗 数	285 店	216 店	61 店	513 店
割 合	2.8 %	2.1 %	0.6 %	5.1 %

⑧ 保護した高齢者への対応【複数回答：割合はnに占める各回答の割合 n=9,885 店】

項 目	110 番通報	売場・バックルームで保護	119 番通報	家族・知人などに連絡	自宅まで送った	地域包括支援センターなどに連絡	その他
店 舗 数	7,529 店	1,872 店	1,523 店	1,490 店	665 店	555 店	321 店
割 合	76.2 %	18.9 %	15.4 %	15.1 %	6.7 %	5.6 %	3.2 %

(6) 特殊詐欺未然防止対応の状況と警察による巡回指導の状況

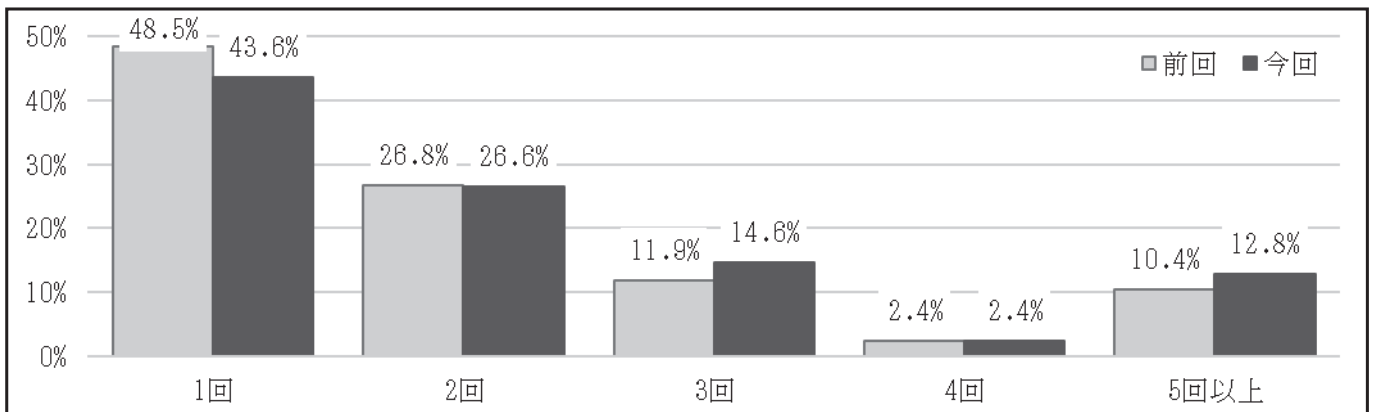
① 特殊詐欺を未然に防止した店舗【n=55,357 店】

項 目	防止した	防止出来なかった	防止する機会がなかった
店 舗 数	17,109 店	13,916 店	24,332 店
構 成 比 (1 0 0 %)	30.9 %	25.1 %	44.0 %

② 防止した店舗数の過去 5 年間推移

年 数	2020 年	2021 年	2022 年	2023 年	2024 年
店 舗 数	10,797 店	13,959 店	14,879 店	17,770 店	17,109 店
割 合	19.3 %	25.0 %	27.0 %	32.5 %	30.9 %

③ 防止した回数【n=16,616 店】



項 目	1 回	2 回	3 回	4 回	5 回以上
店 舗 数	7,251 店	4,413 店	2,425 店	392 店	2,135 店
構 成 比 (1 0 0 %)	43.6 %	26.6 %	14.6 %	2.4 %	12.8 %
前 回 結 果	48.5 %	26.8 %	11.9 %	2.4 %	10.4 %

※合計で 35,595 回以上特殊詐欺を未然に防止(前回 28,864 回以上の防止、6,731 回以上増加)

④ 防止に要した時間【n=15,707 店】

項 目	30 分未満	30 分～ 1 時間未満	1 時間～ 1 時間半未満	1 時間半以上
店 舗 数	8,578 店	5,476 店	1,150 店	503 店
構 成 比 (1 0 0 %)	54.6 %	34.9 %	7.3 %	3.2 %

⑤ 未然に防止することができた（声をかけた）理由

【複数回答：割合はnに占める各回答の割合 n=16,922 店】

項 目	高額な電子マネー（プリペイドカードなど）の購入を不審に感じた	「高額・端末・プリペイドカード」のフレーズ※に該当した	電話をしながらのATM利用を不審に感じた	高額なインターネット決済を不審に感じた
店 舗 数	15,180 店	2,082 店	1,775 店	1,616 店
割 合	89.7 %	12.3 %	10.5 %	9.5 %

項 目	「シルバー・携帯・ATM」のフレーズ※に該当した	「現金を宅配便で送りたい」旨を言われた	その他
店 舗 数	907 店	166 店	582 店
割 合	5.4 %	1.0 %	3.4 %

※SS活動通信などで注意喚起していたフレーズ

JFAが発行している『SS活動通信』で啓発を行っています。

【2024年2月号】

SS活動通信 2月号

声かけしましょう！「特殊詐欺」
高額・端末・プリペイドカード

行動のポイント

声かけて不審に思ったら処理を中止し警察へ相談しましょう
※未然防止できた場合も必ず警察へ連絡！（110番 又は 警察相談専用電話#9110）

＜声かけの具体例＞

- ◆高額のプリペイドカードを購入されるお客さまへ
 - ・「パソコンがウイルスに感染し修理が必要」等の請求ではないですか？
 - ・「当選おめでとうございます」等と電話やメールで連絡されましたか？
 - ・支払わないと裁判（法的手続き）になると言われていますか？
 - ・複数のコンビニで買うようにと誘われていますか？
- ※お客さまに「詐欺の可能性はある」とは伝えず「具体的な事例」を伝えることで詐欺被害を未然に防止している例が多数あります。
- ◆マルチメディア端末機をご利用のお客さまの様子を確認！
 - ・以下のような様子が見受けられたら、声かけしましょう。
 - ・高額なプリペイドカードの購入や繰り返しの購入
 - ・携帯電話で話しながらの端末の操作やプリペイドカードの購入
- ◆携帯電話で話しながらATMの操作をしているお客さまへ
 - ・医療費や税金の還付があるとされていますか？
 - ※同時に不審なクレーム電話が掛かってくる場合もあるので注意が必要です。

【SS Topics】SS活動好事例表彰「SS総選挙」実施のお知らせ
 ◆2023年下期SS活動好事例表彰「最優秀店舗」決定投票を実施いたします。
 S5広域にアクセスの上、投票をお願いいたします。 下記QRコードからアクセス！
 （対象店舗）2023年7月～12月表彰店舗で予備審査を通過した店舗
 （投票期間）2024年2月1日（木）～2月29日（木）
 ◆SS活動の好事例がございましたら、積極的に担当の経営指導員へお知らせください。

++確認したらサインしましょう
発行：2024年1月

【2024年6月号】

SS活動通信 6月号

声かけしましょう！「特殊詐欺」
シルバー・携帯・ATM

行動のポイント

少しでも不審に感じたら、まずは声かけ！被害を防止！

- ◆携帯電話をかけながらATMの操作をしているお客さまへ
 - ・医療費や税金の還付があるとされていますか？
 - ※コンビニATMを利用した「還付金詐欺」が増加の傾向にあります。
- ◆高額のプリペイドカードを購入されるお客さまへ
 - ・電話やメールで請求されたものではありませんか？
 - ・『「給付金」や「還付金」を受取る手数料として必要』『パソコンがウイルスに感染し修理費用の支払いが必要』『プリペイドカードを購入して番号を教えて』などと言われていますか？
- ◆マルチメディア端末機をご利用のお客さまへ
 - ・「携帯電話で話しながら端末機を操作している」「慌てている」「繰り返しカードを購入している」様子はありますか？

上記のような場合は、処理を中止して警察へ相談！
 （110番 又は 警察相談専用電話#9110）
 ※未然防止できた場合でも、必ず警察へ連絡しましょう。

【SS Topics】防犯（特殊詐欺）対策への取り組み状況
 現在、チェーンの垣根を超えた合同防犯訓練を推進しており、防犯体制の強化や特殊詐欺未然防止などに取組んでいます。今回のSSアンケートでは、17,770店舗で「特殊詐欺を未然に防いだ」と回答があり、年々店舗数が増加しています。

++確認したらサインしましょう
発行：2024年5月

⑥ 防止した際の110番通報の有無【n=16,958 店】

項 目	通報した	通報しなかった
店 舗 数	12,546 店	4,412 店
構 成 比 (100%)	74.0 %	26.0 %

⑦ 防止できなかった理由【複数回答：割合はnに占める各回答の割合 n=10,418 店】

項 目	詐欺の確証が なかった	お客さまが説得に 応じなかった	レジが混雑 していた	声かけに躊躇した (怖かった)
店 舗 数	5,600 店	1,428 店	482 店	283 店
割 合	53.8 %	13.7 %	4.6 %	2.7 %

項 目	店舗責任者が 不在だった	声かけの仕方が 分からなかった	マニュアルが なかった	その他
店 舗 数	281 店	187 店	78 店	2,942 店
割 合	2.7 %	1.8 %	0.7 %	28.2 %

⑧ 防止するためにお客さまに声をかけたことによるトラブルの有無【n=52,444 店】

項 目	トラブルあり	トラブルなし
店 舗 数	4,238 店	48,206 店
構 成 比 (1 0 0 %)	8.1 %	91.9 %

⑨ トラブルの内容【複数回答：割合はnに占める各回答の割合 n=4,167 店】

項 目	説得に応じず 文句を言う	大声で怒鳴る	人身に対する 暴行	レジなどの 器物損壊	その他
店 舗 数	3,771 店	1,006 店	16 店	5 店	146 店
割 合	90.5 %	24.1 %	0.4 %	0.1 %	3.5 %

⑩ 特殊詐欺被害防止について警察から巡回指導などを受けた店舗【n=53,209 店】

項 目	受けたことがある	受けたことがない
店 舗 数	35,627 店	17,582 店
構 成 比 (1 0 0 %)	67.0 %	33.0 %

⑪ 警察から指導を受けた内容

【複数回答：割合はnに占める各回答の割合 n=34,793 店】

項 目	ポスター・ステッカーなどの掲示	お客さま向け声かけシートの活用	プリペイドカード購入者用封筒の活用	従業員向け防止マニュアルの活用
店 舗 数	21,626 店	18,885 店	7,609 店	5,101 店
割 合	62.2 %	54.3 %	21.9 %	14.7 %

項 目	防止事例の共有	防止時の全件通報	啓発用動画参照	その他
店 舗 数	2,365 店	1,121 店	100 店	628 店
割 合	6.8 %	3.2 %	0.3 %	1.8 %

⑫ 特殊詐欺防止のために取組んだ内容

【複数回答：割合はnに占める各回答の割合 n=54,412 店】

項 目	高額な電子マネー（プリペイドカードなど）の購入時には声をかけている	日頃から従業員に注意喚起している	警察などから提供された声かけシートなどを活用している	電話をしながらのATM利用時には声をかけている
店 舗 数	35,403 店	17,538 店	9,670 店	6,159 店
割 合	65.1 %	32.2 %	17.8 %	11.3 %

項 目	SS活動通信を活用している	その他の取組みをしている	特に取組みをしていない
店 舗 数	4,820 店	782 店	5,397 店
割 合	8.9 %	1.4 %	9.9 %

青少年環境の健全化への取組み

(1) 青少年健全育成条例の理解状況

① 各自治体で制定されている青少年健全育成条例などの理解状況【n=56,032 店】

項 目	理解している	理解していない
店 舗 数	36,185 店	19,847 店
構 成 比 (1 0 0 %)	64.6 %	35.4 %

(2) 青少年に対する帰宅促しとトラブル発生状況

① 条例の有無に関わらず深夜時間帯に帰宅促しを実施している店舗【n=55,991 店】

項 目	実施した	実施しなかった	実施する機会が なかった
店 舗 数	20,636 店	6,757 店	28,598 店
構 成 比 (1 0 0 %)	36.8 %	12.1 %	51.1 %

② 帰宅促しを行った際のトラブルの有無【n=20,186 店】

項 目	トラブルあり	トラブルなし
店 舗 数	2,418 店	17,768 店
構 成 比 (1 0 0 %)	12.0 %	88.0 %

③ トラブル発生回数【n=1,839 店】

項 目	1 回	2 回	3 回	4 回	5 回以上
店 舗 数	482 店	423 店	257 店	45 店	632 店
構 成 比 (1 0 0 %)	26.2 %	23.0 %	14.0 %	2.4 %	34.4 %

④ トラブルの内容【複数回答：割合はnに占める各回答の割合 n=2,397 店】

項 目	素直に 応じず 文句を言う	店頭や 駐車場を 汚したまま で帰宅	故意に 大きな声で 恫喝をする	レジなどの 器物損壊	人身に 対する 暴行	その他
店 舗 数	2,025 店	1,283 店	783 店	94 店	41 店	108 店
割 合	84.5 %	53.5 %	32.7 %	3.9 %	1.7 %	4.5 %

(3) 酒類・たばこ販売時の年齢確認実施におけるトラブル発生状況

① 年齢確認実施におけるトラブルの有無【n=52,168 店】

項 目	トラブルあり	トラブルなし
店 舗 数	11,329 店	40,839 店
構 成 比 (1 0 0 %)	21.7 %	78.3 %

② トラブル発生回数【n=9,331 店】

項 目	5 回以下	6 回～10 回	11 回～30 回	31 回～50 回	51 回以上
店 舗 数	5,702 店	1,954 店	1,033 店	207 店	435 店
構 成 比 (1 0 0 %)	61.1 %	20.9 %	11.1 %	2.2 %	4.7 %

③ トラブルになったお客さまの年齢

【複数回答：割合はnに占める各回答の割合 n=11,214 店】

項 目	20 歳未満	20～30 歳	31～49 歳	50～69 歳	70 歳以上
店 舗 数	6,765 店	3,162 店	1,052 店	3,613 店	2,271 店
割 合	60.3 %	28.2 %	9.4 %	32.2 %	20.3 %

④ トラブルの内容

【複数回答：割合はnに占める各回答の割合 n=11,140 店】

項 目	素直に応じず 文句を言う	故意に大きな声 で恫喝する	レジなどの 器物損壊	人身に対する 暴行	その他
店 舗 数	9,875 店	4,356 店	648 店	131 店	489 店
割 合	88.6 %	39.1 %	5.8 %	1.2 %	4.4 %

⑤ 年齢確認に対する要望【複数回答：割合はnに占める各回答の割合 n=53,618 店】

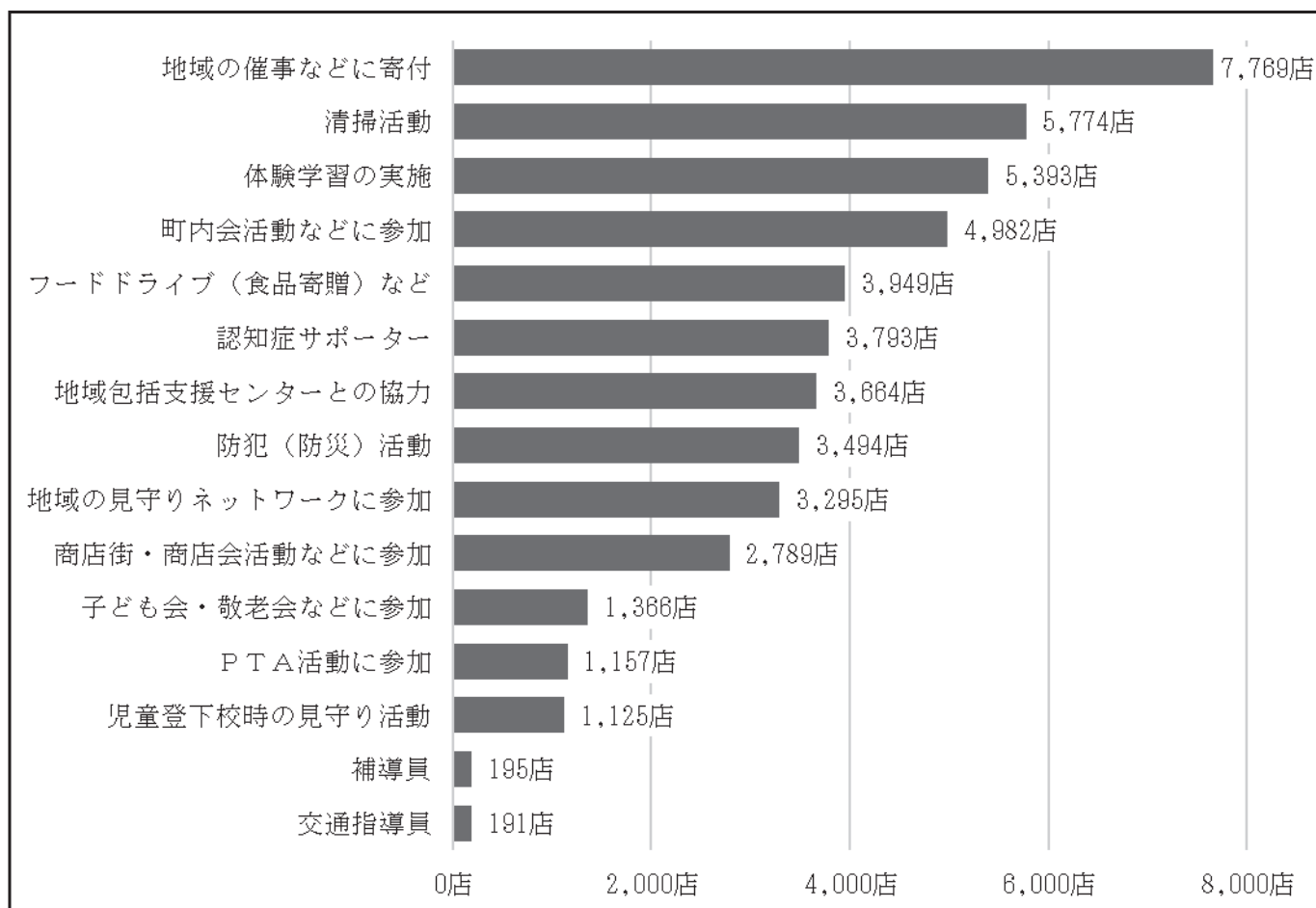
項 目	購入者が身分証明書を提示するなどの条例の制度化	身分証明書を「写真付きの身分証明書」に統一	現行の法制度（販売者の年齢確認義務）の周知活動
店 舗 数	31,996 店	24,495 店	21,498 店
割 合	59.7 %	45.7 %	40.1 %

項 目	学校・P T Aなどで健康被害・飲酒・喫煙防止教育を徹底	店舗責任者向けの講習会などの開催
店 舗 数	9,608 店	1,573 店
割 合	17.9 %	2.9 %

地域との交流

（１）地域との交流を深めるために実施している活動や協力など

① 地域との交流を深めるために実施している活動や協力【複数回答 n=42,699 店】



《資料》 チェーン別・都道府県別SS活動実施店舗数

2024年12月末現在

企業名	セブンイレブン・ジャパン	ファミリーマート	ローソン	ミニストップ	山崎製パン株式会社 デイリーヤマザキ	セイコーマート	ポプラ	チェーン合計
ブランドチェーン	セブンイレブン	ファミリーマート	ローソン・スリーエフ ローソンストア100 ナチュラルローソン	ミニストップ	ニューヤマザキデイリーストア ヤマザキデイリーストア	セイコーマート	スリーエイト くらしハウス ポプラ	
北海道	997	234	717			1,083		3,031
東北	青森県	112	174	280	25	11		602
	岩手県	158	174	179	10	19		540
	宮城県	443	319	258	101	30		1,151
	秋田県	120	121	178		15		434
	山形県	187	129	107		6		429
	福島県	453	171	169	74	16		883
関東	茨城県	648	317	214	93	30	88	1,395
	栃木県	470	212	198	27	15		922
	群馬県	482	109	240	43	22		896
	埼玉県	1,251	752	688	125	61	14	2,900
	千葉県	1,168	620	596	161	113	25	2,683
	東京都	2,900	2,353	1,644	232	122	35	7,286
	神奈川県	1,520	966	1,067	107	72	14	3,746
	新潟県	432	161	228		50		871
	富山県	132	147	173		8		460
中部・北陸	石川県	137	238	103		9		487
	福井県	72	143	104	7			326
	山梨県	206	79	134		27		446
	長野県	453	257	167		34		911
	岐阜県	191	338	173	78	45		825
	静岡県	756	483	274	119	28		1,660
	愛知県	1,057	1,556	718	185	67		3,583
	三重県	177	388	138	80	8		791
	滋賀県	224	151	150	5	3	3	536
	京都府	353	326	325	34	29	2	1,069
関西	大阪府	1,292	1,326	1,193	80	112	13	4,016
	兵庫県	696	499	694	40	53	6	1,988
	奈良県	135	145	135	10	18		443
	和歌山県	86	107	157		19		369
	鳥取県	59	66	135			3	263
中国	島根県	68	61	141		1	9	280
	岡山県	320	225	245		13	15	818
	広島県	604	246	308		26	72	1,256
	山口県	324	86	129		8	8	555
	徳島県	83	79	133	18	3		316
四国	香川県	116	114	133	29	13		405
	愛媛県	129	213	212	7	5	2	568
	高知県	49	96	137				282
	福岡県	1,057	523	531	114	61	31	2,317
九州	佐賀県	195	76	78	12	11	5	377
	長崎県	205	153	126		43		527
	熊本県	378	190	163		51	9	791
	大分県	187	120	203	5	12		527
	宮崎県	202	133	111		1		447
	鹿児島県	214	260	200				674
	沖縄県	180	336	263				779
合計店舗数	21,678	15,972	14,649	1,821	1,290	1,180	271	56,861
出店地域数	47	47	47	27	41	3	18	

この件に関するお問い合わせ



一般社団法人

日本フランチャイズチェーン協会

事務局: 満留・工藤・田中

TEL: 03-5777-8701 FAX: 03-5777-8711

セーフティステーション活動ホームページ

URL : <https://ss.jfa-fc.or.jp>

QRコードからのアクセスはこちら→

